



お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■設定・運用は



アセットマネジメントOne

商号等:アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

251014SK313407.313993.94銘柄紹介資料

One / フィデリティ・ ブルーチップ・グロース株式ファンド

(成長型 / 隔月決算・予想分配金提示型 / 毎月決算・予想分配金提示型)
追加型投信 / 内外 / 株式

販売会社によっては、一部ファンドのみのお取扱いとなります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

現在と将来の

ブルーチップ

グロース

優良 × 成長企業を 網羅的に発掘

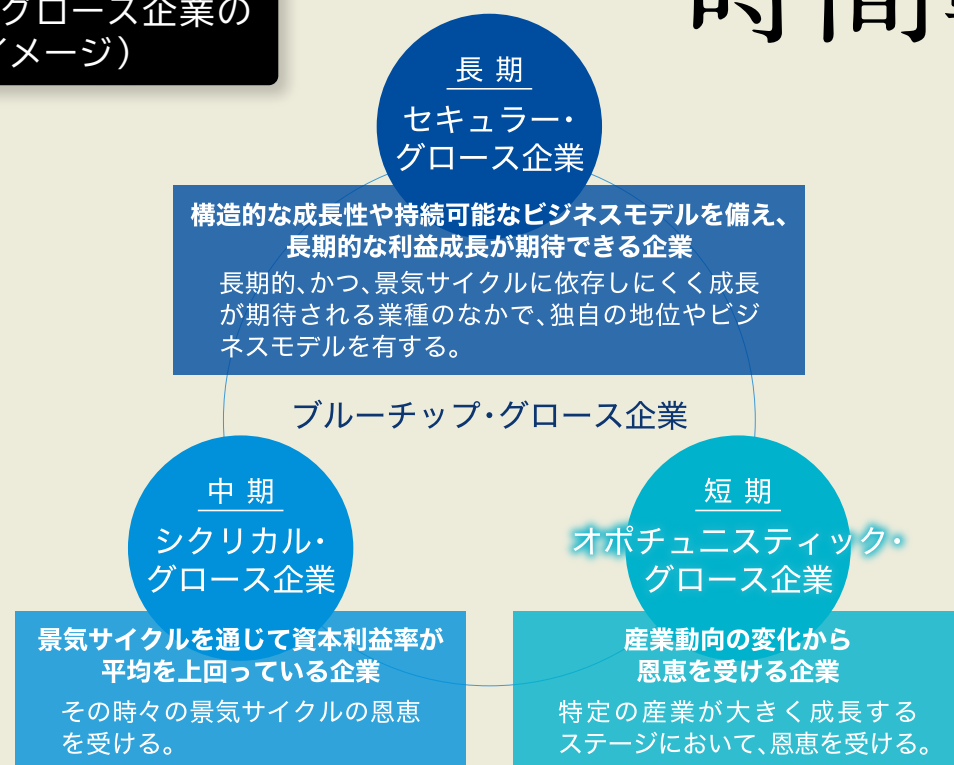
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(成長型／隔月決算・予想分配金提示型／毎月決算・予想分配金提示型)(以下、「各ファンド」という場合があります。)は、長期にわたって持続的な成長が期待できる米国の優良企業(ブルーチップ)を中心に、将来のブルーチップとして成長が期待できる企業にも幅広く投資を行います。

ブルーチップ・グロース企業とは

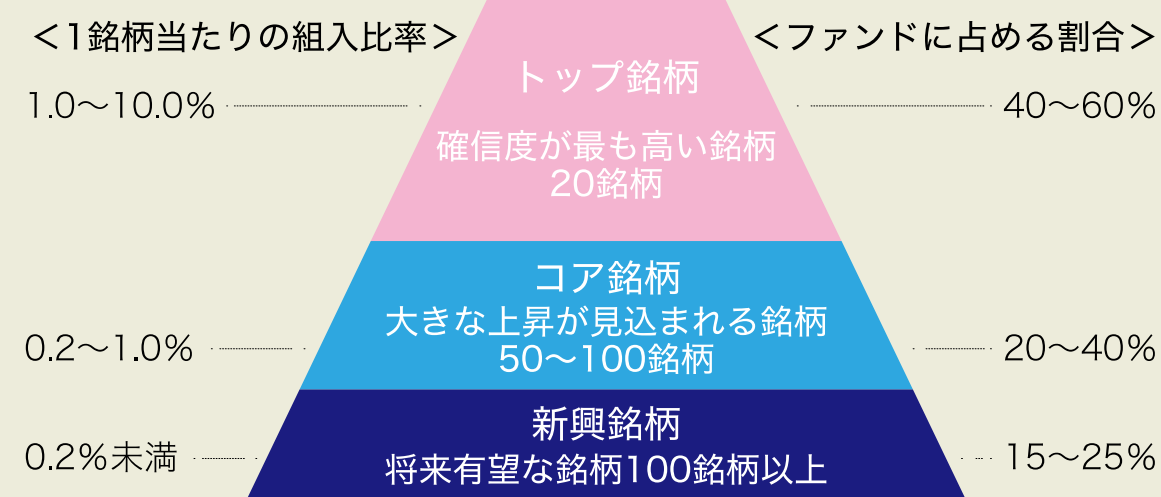
ブルーチップ・グロース企業とは、毎年10%のEPS(1株当たり純利益)成長を持続的に達成する『優良かつ成長企業』を指します。各ファンドは、時間軸と確信度という2つの側面を捉えることで、ブルーチップ・グロース企業の魅力を最大限に活かしたポートフォリオを構築します。

時間軸 × 確信度

時間軸による
ブルーチップ・グロース企業の
分類(イメージ)



期待リターンに対する
確信度に基づく銘柄の
分類(イメージ)



※各ファンドの実質的な運用は、フィデリティ・インベスメンツの一員であるFIAM LLCが行います。当資料において特段の記載がない限り、
※セキュラー・グロース企業、シクリカル・グロース企業、オポチュニスティック・グロース企業はフィデリティが考えるブルーチップ・グロース
※トップ銘柄、コア銘柄、新興銘柄はフィデリティが期待リターンに対する確信度に基づいて区分しています。また、ポートフォリオにおける各
※買い付けのタイミングや集中投資を避けるため、上場投資信託(ETF)への投資を行う場合があります。

※上記は作成時点の情報に基づくものであり、予告なく変更される場合があります。

出所：フィデリティ投信の情報をもとにアセットマネジメントOne作成

フィデリティはフィデリティ・インベスメンツを指します。
企業のイメージであり、すべてを表すものではありません。
銘柄ごとの組入比率のイメージであり、すべてを表すものではありません。

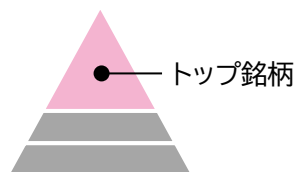
究極の分散投資をめざす 銘柄紹介①

各ファンドは、多数の銘柄でポートフォリオを構築することにより、将来のブルーチップ・グロース企業を網羅的に発掘します。各ファンドの類似運用戦略であり、フィデリティの旗艦戦略の1つであるフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド（以下、類似運用戦略）は、過去にはメタ・プラットフォームズやアップラビンなど現在のブルーチップ・グロース企業を早期に組入れています。

メタ・プラットフォームズ

組入比率:5.4%

Meta Platforms, Inc. (US)



企業概要

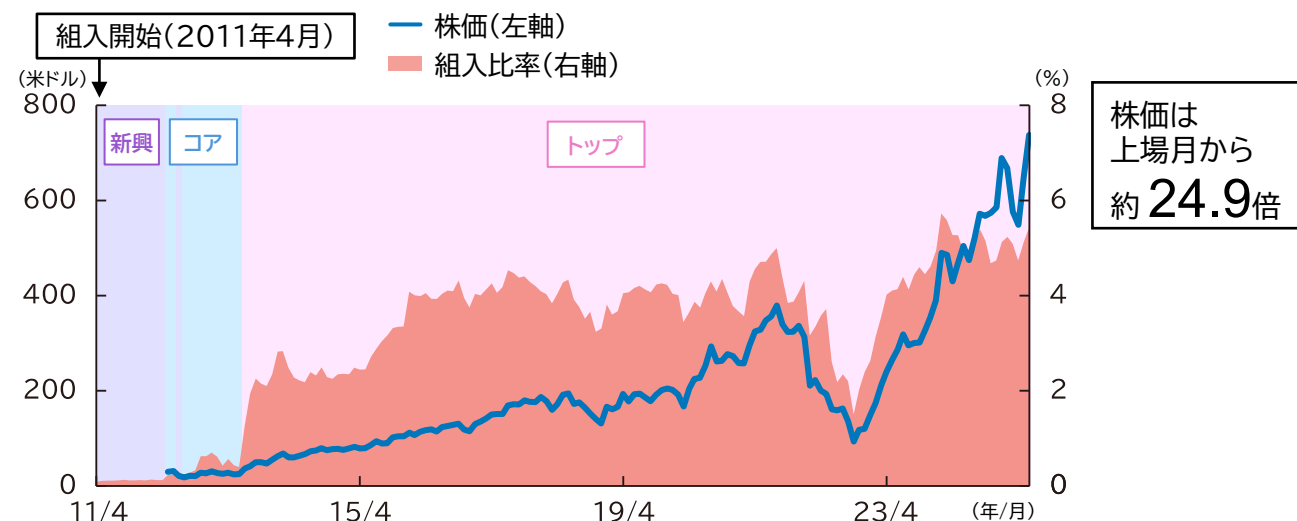
Facebook、Instagram、WhatsApp、Messengerなどのアプリ群を運営する世界最大級のソーシャルメディア企業。VR(仮想現実)やAR(拡張現実)、メタバース(仮想空間)事業などにも注力している。



フィデリティの着目点

- AIツールの活用・統合により、広告のパフォーマンス向上を実現。広告主のROI(投資利益率)の改善と広告支出の増加に期待。
- 優れたビジネスを展開し、一貫して堅調な業績を達成。AIの未来に向けて良好なポジションを確保している企業として評価。
- 創業者であるマーク・ザッカーバーグCEOは、技術革新を成功に導いてきたリーダーと評価されており、今後も同社の成長をけん引すると考える。

株価と組入比率の推移



※期間:[メタ・プラットフォームズ]2011年4月末～2025年6月末(月次、上場は2012年5月)、「アップラビン」2021年8月末～2025年6月末(月次)
 ※組入比率は類似運用戦略における組入株式評価額に対する割合です(2025年6月末時点)。
 ※類似運用戦略は未上場株を組入れることがありますが、各ファンドは未上場株の組入れは行いません。
 ※国・地域はフィデリティ投信の基準に基づいています。
 ※各銘柄の背景色は、組入比率をもとにトップ銘柄(1.0～10.0%)、コア銘柄(0.2%～1.0%)、新興銘柄(0.2%未満)に分類しています。
 ※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、各ファンドへの実質的な組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。
 出所:フィデリティ投信、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

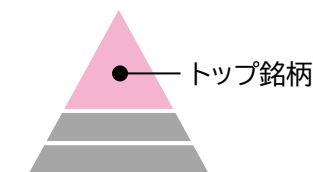
上記は、One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(各ファンド)の類似運用各ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用

アップラビン

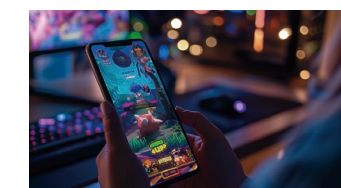
組入比率:1.2%

AppLovin (US)



企業概要

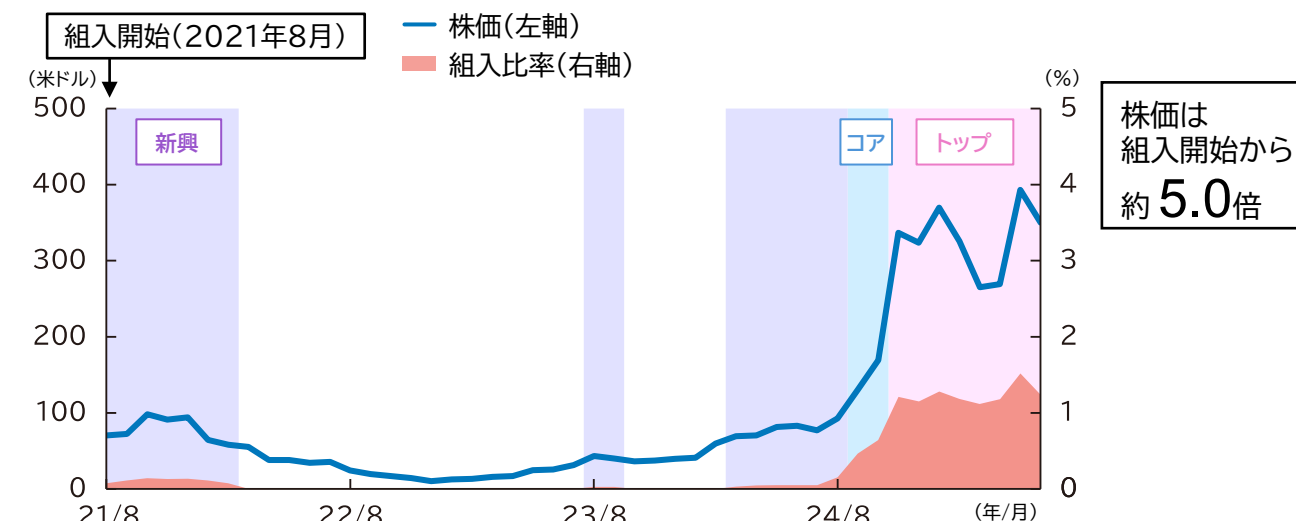
モバイルアプリ開発者向けに広告配信プラットフォームや収益化ソリューションを提供する企業。ゲームアプリの開発や運営なども行い、モバイル広告事業を主軸として収益を拡大している。



フィデリティの着目点

- AI技術を活用し、利用者の関心に基づいたコンテンツを提供することで広告効果を最大化。さらにeコマース(電子商取引)分野への進出を計画しており、収益拡大に期待。
- これまで米国内が中心だった広告事業を、米国外の広告主向けに展開予定。粗利益の改善とコスト管理の効率化により、利益率の上昇を見込む。
- 共同創業者のアダム・フォローキCEOの指揮のもと、今後も順調なビジネス運営に期待。

株価と組入比率の推移



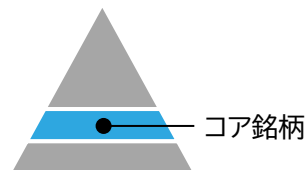
戦略であるフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンドの組入比率を表しています。成果等を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用

FTAI アビエーション

組入比率:0.4%

FTAI Aviation Ltd. (US)



企業概要

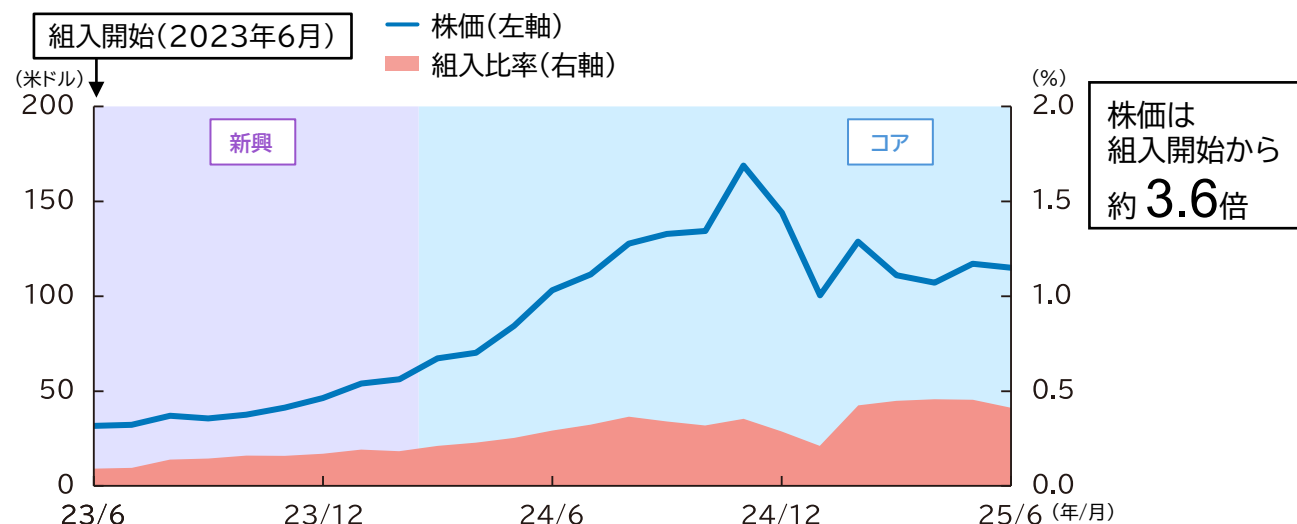
航空機エンジンのリースおよびメンテナンスサービスを展開する航空業界に特化した企業。商業用ジェットエンジンを保有し、リースや保守・修理・オーバーホールサービスなどを提供することで顧客のコスト削減を支援している。



フィデリティの着目点

- 航空機リース事業は長期契約が主であることから、安定的な収益を確保。航空市場のシクリカルな変動(景気の波等による需要の変化)にも強い耐性を持つと考える。
- 旧式エンジン修理サービスで市場シェアを拡大し、航空宇宙製品分野でも独自の技術を提供するなど、収益機会の拡大に期待。
- 航空旅行需要の回復に伴い、リース率や利用率の拡大が期待されるなか、需給バランスのひっ迫を背景に強い価格決定力が維持されると考える。

株価と組入比率の推移



※期間:[FTAI アビエーション]2023年6月末~2025年6月末(月次)、[ブリンカー・インターナショナル]1998年8月末~2025年6月末(月次)
 ※組入比率は類似運用戦略における組入株式評価額に対する割合です(2025年6月末時点)。
 ※国・地域はフィデリティ投信の基準に基づいています。
 ※各銘柄の背景色は、組入比率をもとにトップ銘柄(1.0~10.0%)、コア銘柄(0.2%~1.0%)、新興銘柄(0.2%未満)に分類しています。
 ※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、各ファンドへの実質的な組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。
 出所:フィデリティ投信、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

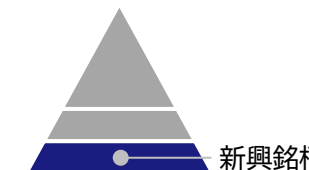
上記は、One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(各ファンド)の類似運用各ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用

ブリンカー・インターナショナル

組入比率:0.1%

Brinker International, Inc. (US)



企業概要

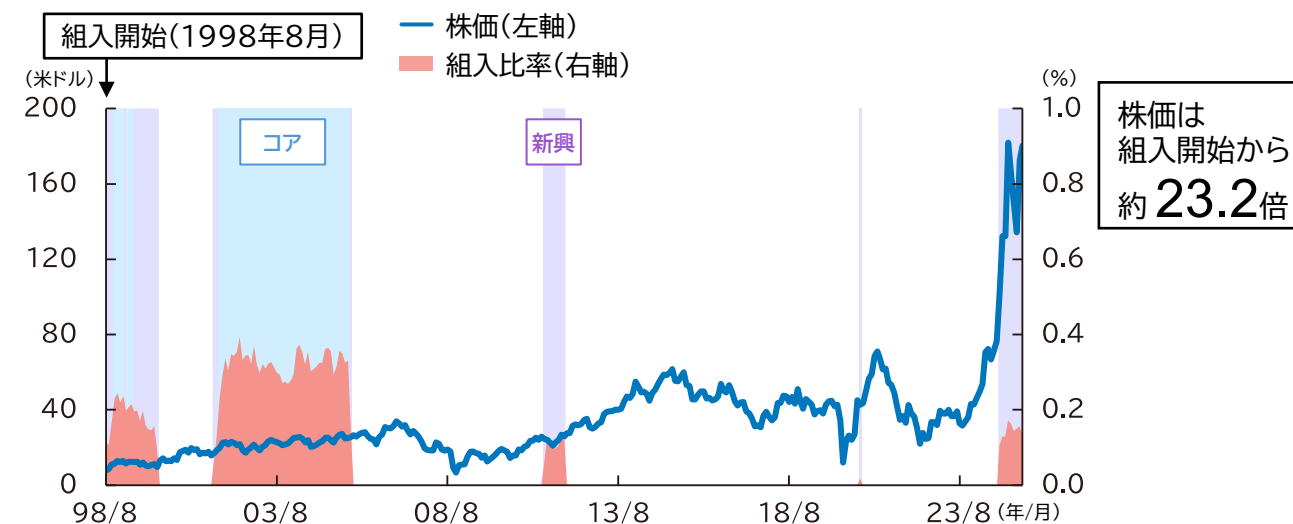
「Chili's」や「Maggiano's」などのカジュアル・レストランチェーンを運営する外食産業企業。カジュアルダイニングを中心に世界中で飲食事業を展開している。



フィデリティの着目点

- 主要ブランド「Chili's」はサービスと品質向上に加え、ソーシャルメディアを活用したブランド認知度の向上により人気を回復している。店舗運営の効率化や新商品の投入、幅広いターゲット層への積極的な広告戦略などにより、良好な販売を維持するとみている。
- 「Maggiano's」についても、同様の再生戦略を実施。オンライン注文、配達サービス、ロイヤリティプログラムへの積極的な投資により、顧客の維持ならびに売上の増加が見込まれる。
- 同社はカジュアルダイニング市場で魅力的なポジションにあり、サービスや料理の質の向上、SNS活用による人気拡大などが、顧客層の拡大と成長につながると考える。

株価と組入比率の推移



戦略であるフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンドの組入比率を表しています。成果等を示唆・保証するものではありません。

成果等を示唆・保証するものではありません。

時流を捉え、長期にわたり多様な成長機会を捕捉

フィデリティの旗艦戦略の1つである類似運用戦略は1987年の設定から、時代の潮流や市場の変化をその優れた運用実績が認められ、外部評価会社からも高い評価を獲得しています。

捉え、35年を超える長期間において良好な運用実績を積み重ねてきました。

Morningstar Rating

モーニングスター・レーティング

【総合】

★★★★★

対象ファンドのリスク調整後のパフォーマンスが、カテゴリー分類内のファンド群のなかで相対的にどのランクに位置するかを、5段階の星印で表示します。
(米国大型成長株式分類、2025年9月末時点)

Nasdaq eVestment return Ranking

Nasdaq eVestment リターン・ランキング

0% ----- 上位 1 %

100% -----

Nasdaq eVestmentの「米国大型株式」分類において2015年9月から運用実績のある697戦略のデータに基づきアセットマネジメントOneが算出。対象ファンド(費用控除前)で比較、カテゴリー分類内のファンド群のなかで相対的にどのランクに位置するかを表示します。
(「米国大型株式」分類、2015年9月末～2025年9月末)

※上記の評価は類似運用戦略に基づき運用する米国籍ファンドに対するものであり、各ファンドに対する評価ではありません。

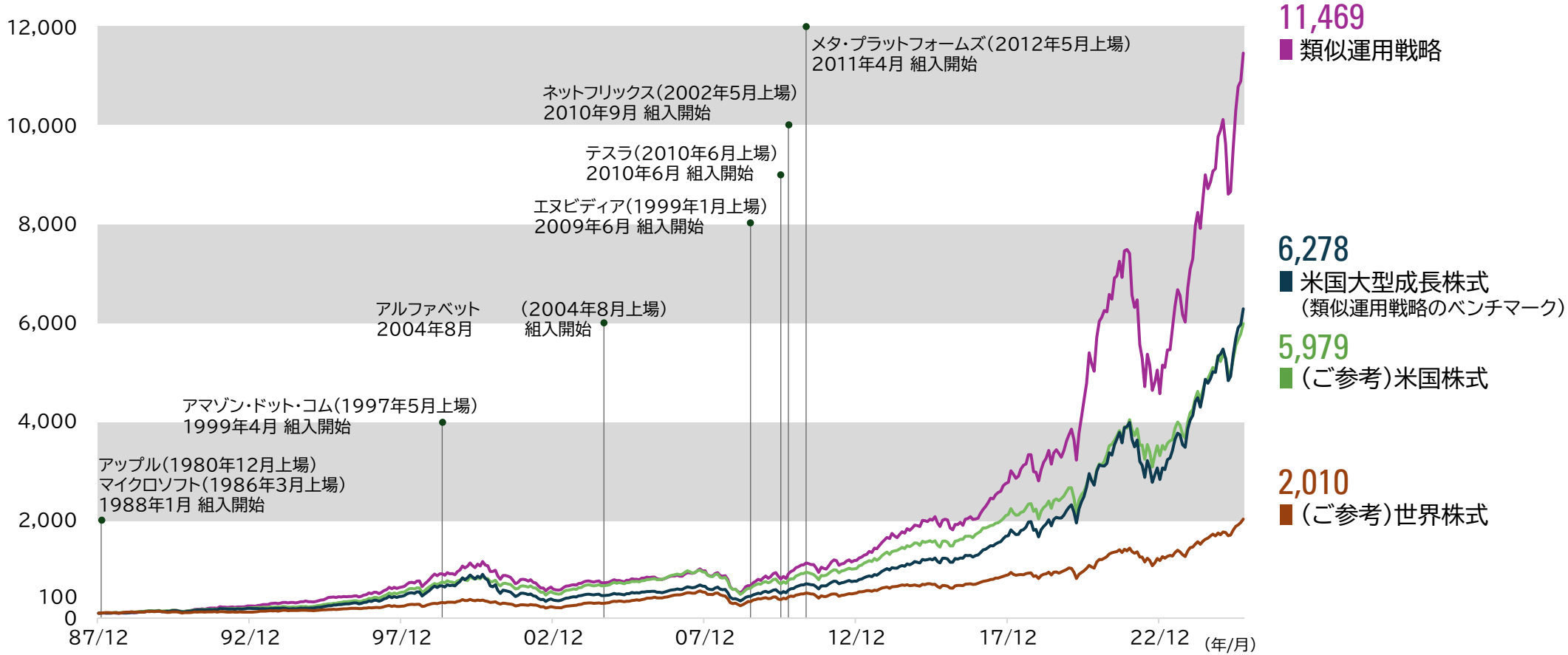
	1988年1月末	比率(%)	1990年1月末	比率(%)	2000年1月末	比率(%)	2010年1月末	比率(%)	2020年1月末	比率(%)	2025年6月末	比率(%)
1	IBM	4.1	AT&T	4.8	マイクロソフト	4.4	アップル	5.1	アップル	7.7	エヌビディア	15.2
2	ウエスト・マネジメント(旧)	3.4	アルトリア・グループ	4.7	ゼネラル・エレクトリック	4.3	マイクロソフト	4.3	アルファベット(クラスA)	7.4	アマゾン・ドット・コム	8.6
3	ダウ・ケミカル	3.1	ウォルマート	3.9	シスコシステムズ	4.1	グーグル(現:アルファベット)	4.1	アマゾン・ドット・コム	7.0	マイクロソフト	8.1
4	ブラウニング・フェリス・インダストリーズ	3.0	ゼネラル・エレクトリック	3.9	インテル	3.1	HP	2.7	マイクロソフト	6.0	アップル	7.9
5	ピツニーボウズ	2.7	連邦住宅抵当公庫	3.6	メルク	2.0	プロクター・アンド・ギャンブル	2.7	フェイスブック(現:メタ・プラットフォームズ)	4.0	メタ・プラットフォームズ	5.5

※期間:1987年12月末(設定月)～2025年9月末(月次)、1987年12月末を100として指数化
※類似運用戦略の運用実績は、運用費用控除後、税引前分配金再投資、米ドルベースですが、各ファンドでは信託報酬などの費用がかかります。
※米国大型成長株式:ラッセル1000グロースインデックス(トータルリターン、米ドルベース)、米国株式:S&P 500種指数(トータルリターン、米ドルベース)、
※ラッセル1000グロースインデックス(トータルリターン、米ドルベース)は類似運用戦略のベンチマークであり、各ファンドのベンチマークではありません。また
※比率は類似運用戦略における組入株式評価額に対する割合です。
※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、各ファンドへの実質的な組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。
出所:フィデリティ投信、ブルームバーグ、モーニングスター・ダイレクト、Nasdaq eVestmentのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

上記は、One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(各ファンド)の類似運用各ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報または一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

(ご参考) 類似運用戦略 のパフォーマンスと組入銘柄の推移



数字で見るフィデリティ

各ファンドの運用は世界有数の運用会社であるフィデリティが行います。

運用実績

70 年以上

1946年に米国で創業した独立系運用会社で、半世紀以上にわたる運用実績を誇ります。

管理資産残高

約 868 兆円

アクティブ運用を中心に圧倒的な支持を受ける、世界有数の資産運用会社です。

運用
プロフェッショナル

960 名超

世界中に在籍する運用調査のプロが、徹底的な企業調査を実施しています。

経験年数
10年以上の
アナリスト

64 名

株式調査部門に在籍するアナリストの約半数が、10年以上のアナリスト経験を有します。

※2024年12月末時点(1米ドル=157.16円で換算)、経験年数10年以上のアナリストは2025年3月末時点
※運用プロフェッショナルは、ポートフォリオ・マネジャー、アナリスト、トレーダー、サポートスタッフを含みます。
出所:フィデリティ投信の情報をもとにアセットマネジメントOne作成

フィデリティとは――

フィデリティ・インベスメンツは、1946年創業の米国ボストンに本社を置く独立系大手運用会社です。世界各国に拠点を持ち、世界有数の資産規模と運用体制を有しています。

25年以上に及ぶ資産運用経験

ポートフォリオ・マネジャー

Sonu Kalra
(ソヌ カルラ)

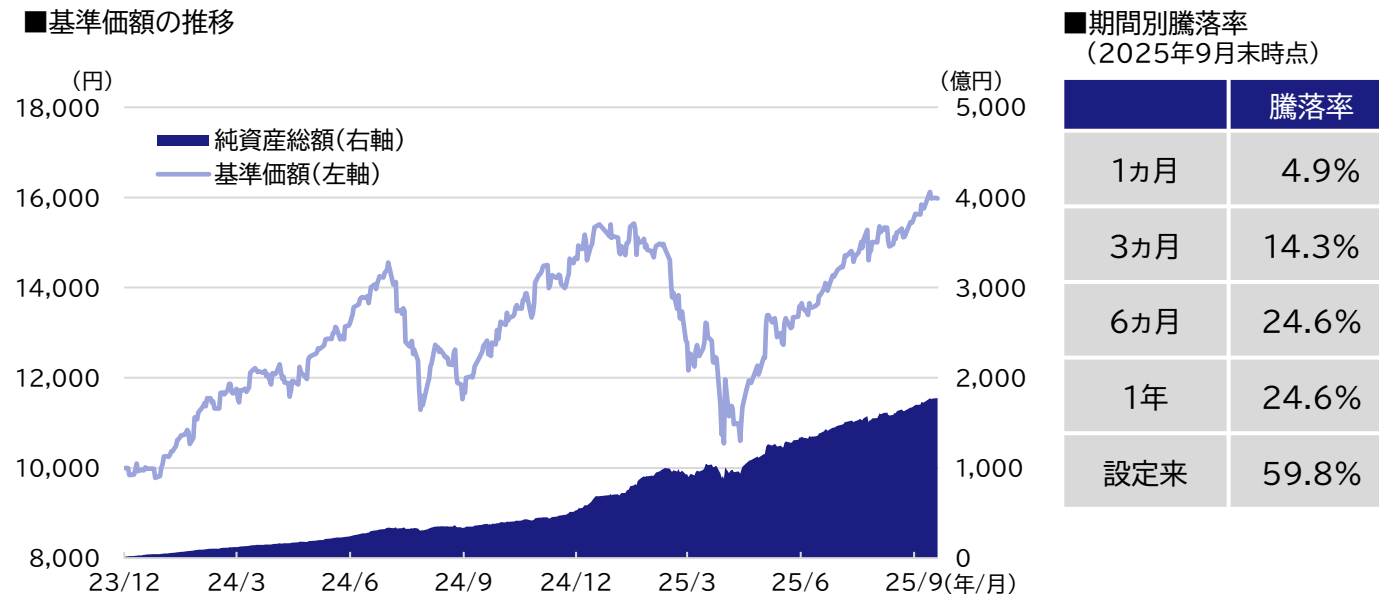
1998年にフィデリティに入社。2009年からフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンドの運用に携わっています。



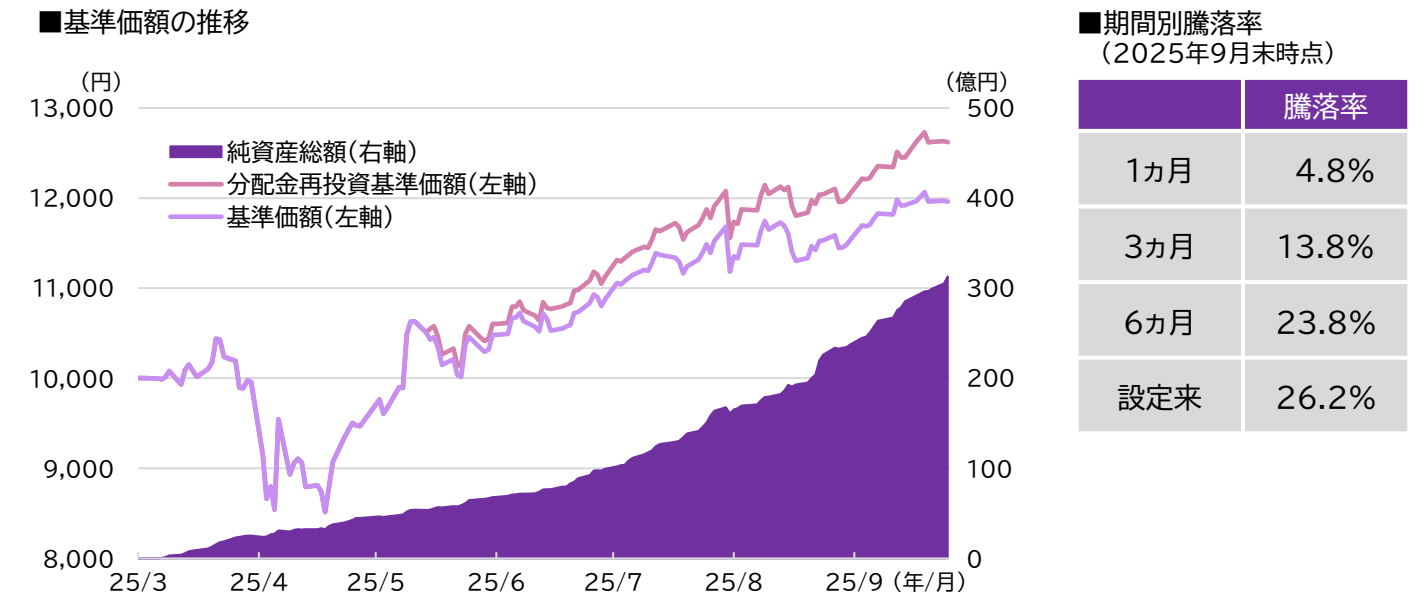
Blue chip

ファンドのパフォーマンス

成長型（設定来の推移）



毎月決算・予想分配金提示型（設定来の推移）



隔月決算・予想分配金提示型（設定来の推移）



※期間：＜成長型＞＜隔月決算・予想分配金提示型＞2023年12月11日（設定日前営業日）～2025年9月30日（日次）、＜毎月決算・予想分配金提示型＞

※基準価額は設定日前営業日を10,000円として計算しています。

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したとみなして計算した理論上のものであり、実際の基準価額とは異なります。

※＜成長型＞は2025年9月30日時点で分配金実績はありません。

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

※騰落率の各期間は、基準日（2025年9月30日）から過去に遡っています。また設定来の騰落率については、設定当初の投資元本をもとに計算しています。

2025年3月6日（設定日前営業日）～2025年9月30日（日次）

ご注意事項等



ファンドの投資リスク

各ファンドの基準価額の変動要因には、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「特定の投資信託証券に投資するリスク」などがあります。

各ファンドの基準価額は、株式市場の変動、為替変動、組入有価証券の発行者にかかる信用状況の変化、市場規模や取引量等により十分な流動性の下で取引を行えない場合、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化、各ファンドが実質的に組入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙等により影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

収益分配金に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)の収益分配金に関する留意事項をご覧ください。

各ファンドには、大口の換金請求に関する制限、購入・換金申込不可日等購入又は換金に係る制限やお客さまの不利益となる事項があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の該当箇所をご覧ください。

指数の著作権等

- ラッセル1000グロースインデックスとは、FTSE Russellが公表している米国の株価指数です。「FTSE Russell®」はLondon Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業(総称して「LSEグループ」)の関連する企業の商標であり、ライセンスを受けて他のLSEグループの企業にも使用されています。FTSE Russellのインデックスまたはデータに関するすべての権利は、そのインデックスまたはデータを所有する関連するLSEグループの企業に帰属します。LSEグループおよびライセンサ各社はFTSE Russellのインデックスおよびデータに関する瑕疵または不作為に対して如何なる責任も負いません。また、何人も本媒体に含まれるFTSE Russellのインデックスやデータに依存することは許されません。書面に基づくLSEグループの企業の同意がない限りLSEグループのデータを再配信することは許されません。LSEグループは本媒体の内容について販売促進や出資、保証することはありません。
- S&P 500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P 500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- MSCI AC ワールドインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ©2025 Morningstar. All Rights Reserved.ここに含まれる情報は、(1)Morningstarおよび/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複写または配布は禁止されており、また(3)正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4)投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

お客さまにご負担いただく手数料等について 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入時	購入時手数料	購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。	
	スイッチング手数料	スイッチング時の購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。	
ご換金時	換金時手数料	ありません。	
	信託財産留保額	ありません。	
保有期間中 (信託財産から間接的に負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	各ファンド	ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.078%(税抜0.98%)
		投資対象とする 国内籍私募投資信託	ブルーチップファンド*の純資産総額に対して年率0.649%(税抜0.59%)
		実質的な負担	各ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.727%(税抜1.57%)(概算) ※上記は各ファンドが投資対象とするブルーチップファンドを高位に組入れた状態を想定しています。
	その他の 費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※投資対象とするブルーチップファンドにおいては、上記以外にもその他の費用・手数料等が別途かかる場合があります。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。	

*ブルーチップファンドは、各ファンドが投資対象とするフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)を指します。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

投資信託ご購入の注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 各ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
 - 1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 - 2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 - 3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

委託会社その他関係法人の概要

委託会社	アセットマネジメントOne株式会社	信託財産の運用指図等を行います。
受託会社	みずほ信託銀行株式会社	信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。	

照会先

アセットマネジメントOne株式会社

 コールセンター **0120-104-694**
受付時間:営業日の午前9時～午後5時

 ホームページアドレス
https://www.am-one.co.jp/